

平成30年度第5回政務活動費のあり方検討会 議事録

日時 平成31年3月25日(月)

午後3時5分～午後3時12分

場所 議事堂 8階 第3委員会室

出席者

・検討会委員

久保大憲、松井邦人、金谷幸則、押田大祐、江西照康、高田真里、高道秋彦、
島 隆之、東 篤、金井毅俊、大島 満、橋本雅雄、佐藤則寿、赤星ゆかり

・事務局

参事(庶務課長)、庶務課副主幹、主査

・傍聴人(一般)

0人

・報道関係

議事録

※発言を一部整理して掲載しています…議会事務局

金井委員： 座長が選出されるまでの間、年長委員である私が、座長の職務を務めさせていただきます。

ただいまから政務活動費のあり方検討会を開会いたします。

本日の議事録の署名委員に、松井委員、島委員を指名いたします。

これより協議事項に入ります。本日の協議事項は、お手元に配布のとおりであります。

はじめに、正・副座長の互選であります。

まず、座長の選出について、皆様のご意見をお聞かせください。

高田委員： 佐藤委員を推薦いたします。

金井委員： それでは、ただいま、座長に佐藤委員との推薦がありました、いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

金井委員： ご異議がありませんので、当検討会の座長は佐藤委員に決定いたしました。これで、私の職務は終了いたしましたので、座長と交代いたします。

佐藤座長： 今ほど推挙いただきました佐藤です。

思えば2年前、政務活動費の不正が発覚し、市民の方から、もう二度とあのような恥ずかしい思いをさせないでくれと言われた、あの顔は生涯忘れることはできないと、そういう思いで今もおります。そういう中で、副座長として当時は、五本座長の元で、裏方として指針の策定に携わりました。その中で、全国一厳しいという指針を作らせていただいたと自負をしております。今回また改めて座長の任を頂いて、あまりにも厳しすぎるとか、また、もっと厳しくとか、いろんな意見があると思いますけれども、個人的には、さらに厳しくという思いでおります。ですが、皆様方のご意見をしっかりと聞きながら、そして、最終的には合意形成をしっかりと勝ち取って、そして、また市民に見ていただいて、納得していただけるといったような有効な政務活動費の使い方をしっかりと作り上げていきたい。そういう思いでいっぱいでございますので、いずれにしましても、まだまだ改革の途中ではございますけれども、皆さんと共に新たな活動をしていきたいという思いで、また、今後ともよろしく願いいたします。

続きまして、副座長の互選であります。副座長の選出について、皆さんのご

意見をお聞かせください。

高田委員： 久保委員を推薦したいと思います。

佐藤座長： ただいま、副座長に久保委員との推薦がありましたかいかででしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

佐藤座長： ご異議がありませんので、当検討会の副座長は久保委員に決定いたしました。それでは、副座長からごあいさつがあります。

久保副座長： 今ほど、副座長にご支持いただきまして誠にありがとうございます。

各党の中でも政務活動費のあり方について、いろいろな改革が遅いと思っておられるような議員の方もいらっしゃるようですので、座長をしっかりとサポートしながら、皆様ご納得いただけるような速度で議論が深まっていくように、精いっぱい副座長の職を務めてまいりたいと思います。どうぞご協力のほど、よろしく願いいたします。

佐藤座長： 以上をもちまして、本日の協議事項は終了いたしました。これをもって、本日の政務活動費のあり方検討会を閉会いたします。